

令和5年度 福島市国際交流協会総会

開催日時

令和5年4月23日（日）10:30～

場 所

市民会館 第2ホール



福島市国際交流協会

Fukushima City International Friendship Association

次 第

1. 開会

アイスブレイク

桜の聖母短期大学 生涯学習センター長 三瓶千香子 様

2. 会長挨拶

3. 事務局説明

(1) 福島市国際化の現状と事業展開

<参考資料>

① 『多文化共生のまち福島推進指針』

② 資料編

4. 議事

(1) 議案第1号 令和4年度事業報告について

(2) 議案第2号 令和4年度収支決算について

(3) 議案第3号 令和5年度事業計画（案）について

(4) 議案第4号 令和5年度収支予算（案）について

(5) 議案第5号 役員改選について

5. 意見交換

6. 閉 会

【議案第1号】令和4年度事業報告について

1 会議

- (1) 令和4年度理事会 令和4年4月20日(水)
- (2) 令和4年度総会 令和4年4月24日(日)

2 ふれあいネットワーク事業

(1) 英語講座

年間を通じて国際交流員による英語講座を開催しました。

① 簡単な英語で話してみよう 全10回

- ・ 開催日：4/14(9)、5/12(4)、6/9(11)、7/14(12)、9/8(6)、10/13(8)、11/10(6)、12/8(6)、1/12(8)、3/9(5)
- ・ 会場：市役所本庁舎、アオウゼ
- ・ 参加者：延べ75人

② ALT・CIRと英語で話そう 全11回

- ・ 開催日：4/21(8)、5/19(7)、6/16(15)、7/21(16)、8/25(13)、9/15(13)、10/20(14)、11/17(9)、12/15(14)、1/19(10)、2/16(11)
- ・ 会場：市役所本庁舎、アオウゼ
- ・ 参加者：延べ130人



(2) 花見 picnic

荒川桜づつみ公園でお花見を実施し、会員相互の親睦を図りました。

- ・ 開催日：4月10日(日)
- ・ 会場：吉井田地区
- ・ 参加者：20人



(3) わくわくアフリカンリズム

アフリカのリズムに合わせてドラム・歌・ダンスなどで自己表現して、参加者同士の一体感を楽しめました。

- ・ 開催日：4月17日(日)
- ・ 会 場：福島市市民活動サポートセンター
- ・ 参加者：32人



(4) 田植え体験@吉井田

日本文化体験および地域住民との交流機会を創出することにより、福島の魅力発信、相互理解の推進を図りました。

- ・ 開催日：5月21日(土)
- ・ 会 場：吉井田地区
- ・ 参加者：15人



(5) FIFA 夏祭り ～キャロルさんありがとう～

4年間CIRとして福島市の国際交流や多文化共生に尽力したキャロル氏とのお別れイベントとして開催しました。

- ・ 開催日：7月23日(土)
- ・ 会 場：佐久間邸
- ・ 参加者：23人



(6) わらじまつり

福島を代表する「わらじまつり」に参加者を募り、福島の思い出を提供するとともに、SNS等での発信を依頼し、福島の魅力発信を図りました。

- ・ 開催日：8月6日(土)
- ・ 参加者：24人



(7)オランダ×はんこアート

オランダ出身者からオランダ文化についての話を聞き、消しゴム版画作家の指導の下、オランダをモチーフにしたスタンプでオリジナルのコットンバックを作りました。

- ・ 開催日：11月12日(土)
- ・ 会場：花の写真館
- ・ 参加者：28人



(8)ふくしまスタモイム

韓国のおやつを食べながら、韓国語でフリートークを楽しむイベントを会員店「幸福（ヘンボク）」さんとコラボ開催しました。

- ・ 開催日：3月5日(日)
- ・ 会場：韓国王庭料理 幸福
- ・ 参加者：11人



※スタモイム：韓国語でおしゃべり

(9)福島原発スタディーツアー

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター（環境省）と連携し、原発事故後の廃炉作業などを学び、英語資料作成や通訳を行いました。

- ・ 開催日：2月25日(土)
- ・ 会場：福島第一原子力発電所
- ・ 参加者：17人（外国出身者9名）



④ アオウゼ世界の旅～オーストラリアの世界展～

CIRの母国であるオーストラリアの文化や自然等を紹介した写真展を開催しました。

- ・ 開催日：3月3日～3月28日
- ・ 会場：AOZ アオウゼ



⑤ アオウゼチャンネルへの出演

アオウゼチャンネルにCIRが出演し、オーストラリアの文化や日本の印象などを話しました。

- ・ 開催日：3月12日
- ・ 会場：AOZ アオウゼ



国際理解講座【継続】

学習センターの依頼に基づき、CIRなどの人材を派遣し異文化理解講座を実施しました。

- ① 6月4日 北信学習センター（オーストラリア文化紹介と平和について）
参加者：15人（一般）
- ② 8月27日 吉井田学習センター（オーストラリア文化紹介）
参加者：25人（小中学生）
- ③ 10月1日 三河台学習センター（ベトナム文化紹介）
参加者：15人（小学生）
- ④ 10月15日 もちずり学習センター（オーストラリア文化紹介）
参加者：20人（小学生）
- ⑤ 2月4日 西学習センター（韓国文化紹介）
参加者：11人（小学生）
- ⑥ 3月1日 渡利学習センター（福島市と多文化共生）
参加者：30人（一般）

3 結・ゆい・フェスタ開催事業

(1)結・ゆい・フェスタ 2022

会員団体、民間事業者、JICA 二本松、県立福島南高等学校、外国人コミュニティ等が、飲食・民芸品等の販売やワークショップ・ゲームなどのブースを出店したほか、今年度は民間事業者と連携したステージイベントも開催しました。

(連携団体：軽トラ市、いきいき福祉マーケット、グッデイマーケット、とっておきの音楽祭)

- ・ 開催日：8月28日(日)
- ・ 会場：東口駅前広場、駅前通り、まちなか広場
- ・ 来場者：約5,000人
- ・ 参加団体：26団体(出展)14団体(ステージ) ※過去最高
- ・ 協賛企業：15社 ※過去最高



(2)出張！結・ゆい・ランチ

市民が食から外国文化に親しむ機会を創出するとともに、『結・ゆい・フェスタ』と協会の認知度向上を図る取り組みとして、福島市国際交流協会の会員店とタイアップで外国料理のブース・キッチンカーを出店しました。令和4年度は家族を対象として郊外にて試験的に実施しました。

開催日：12月4日（日）

- ・ 会場：道の駅ふくしま
- ・ 出店：7店舗
- ・ 来場者：約 500 人
- ・ 福島市国際交流協会の PR ブースも出展
- ・ 留学生支援として福島大学の留学生のブースを設置



(3)結アンブレラスカイ

たくさんの色の傘が並ぶ様子で、国籍や文化、言語、性別、障がい、宗教等の違いがあっても、みんなが認め合う姿をあらわしました。

インスタグラムへの投稿イベントも開催し、市内に限らず、世界に向けて共生社会の推進を訴えました。

開催日	区分	事業名	参加人数
6/5	貸出	福島ユナイテッド FC ホームゲーム	1,508
6/25	貸出	ふたば未来学園文化祭	250
7/22~25	協力	人権と平和展	1,200
8/1~31	主催	結・アンブレラスカイ(トヨタクラウンアリーナ)	13,097
8/14	協力	二十歳のチャレンジプロジェクト	150
8/20	貸出	夜の民家園	1,023
9/1~30	協力	街なか減災・防災体験コーナー & 減災ワークショップ (9月1~14日) ※終了後9月末まで傘展示	1,680
9/25	協力	ふくしまシティマラソンプレイバント	500
11/6	貸出	福島ユナイテッド FC ホームゲーム	1,140
12/21~1/31	主催	二十歳の集い	28,000
2/15~3/15	貸出	福岡県糸島市	400
計			48,948



4 多文化共生推進事業

(1) ウクライナ緊急募金の募金箱設置

ウクライナを支援するために、市役所内に募金箱を設置しました。

- ・ 開催日：3月7日～5月31日
- ・ 会場：市役所
- ・ 募金額：1,458,673円



(2) ウクライナ写真展「ウクライナを思う」の開催

福島大学協力のもと、ウクライナを支援するため、写真展を開催しました。

- ・ 開催日：4月22日～5月8日
- ・ 会場：ふくふる
- ・ 参加者：1,021人



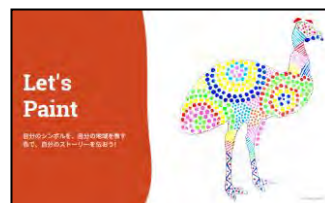
(3) 学校における多文化共生講座

多文化共生意識啓発を行う講座などを行い、本市の多文化共生推進の取り組みを紹介しました。

① 余目小学校での出前講座

オーストラリアの文化紹介をしたほか、ワークショップでドットアートを行いました。

- ・ 開催日：6月17日(金)
- ・ 参加者：30人(4年生)



② 橘高校での出前講座

JICA 東北の協力も得て、若い世代に多文化共生意識の醸成を図ったほか、キャリア形成に国際化の視点を加えました。

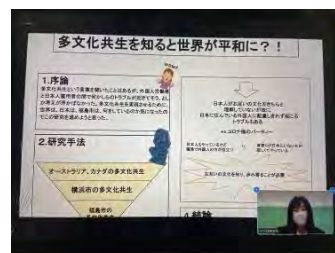
- ・ 開催日：6月29日(水)
- ・ 参加者：31人(1年生)



③ 福島高校 SSH 生徒研修会支援

生徒研究の題材の一つに多文化共生を取り上げていただき、生徒研究発表会における支援を行いました。

- ・ 開催日：2月24日(金)
- ・ 参加者：76人 (ZOOM 発表会参加者)



(4) 会員団体など関係団体との連携

多文化共生社会を推進するため、関係団体との連携を深め、本市における国際化や多文化共社会の推進を図りました。

① 国際協力フォーラム 日本、福島とルワンダ 今までとこれから

友好関係樹立60周年を迎えたルワンダとの交流の歴史やこれからの交流についてパネルディスカッションを実施しました。

- ・ 開催日：7月22日(金)
- ・ 会場：AOZ アオウゼ
- ・ 参加者：50人



② ウクライナ情勢とルワンダ内戦から考える戦争と平和

ルワンダ内戦の歴史から今の世界情勢について考えました。

- ・ 開催日：7月26日(火)
- ・ 会場：AOZ アオウゼ
- ・ 参加者：33人



(5) 多文化×防災ワークショップ

在住外国人と地域に住む日本人を対象に防災ワークショップを開催し、外国人は防災の知識を学び、日本人は「やさしい日本語」での外国人への対応を学ぶことで、外国人も含む地域の共助力の向上を図りました。

- ・ 開催日：11月12日(土)
- ・ 場所：市民会館第2ホール
- ・ 参加者：26人



(6)多文化共生センターワークショップ

①ワークショップ

整備を予定している多文化共生センターのコンセプトや必要となる基本的な機能について関係者と意見交換を行いました。

- ・ 開催日：11月16日（水）
- ・ 場所：アオウゼ
- ・ 参加者：12人



- ・ 開催日：11月17日（木）
- ・ 場所：アオウゼ
- ・ 参加者：6人

- ・ 開催日：11月20日（日）
- ・ 場所：アオウゼ
- ・ 参加者：11人



②デザインワークショップ

11月に開催したワークショップを踏まえて、施設のイメージやデザイン、施設整備の際のアイデアについて関係者と意見交換を行いました。

- ・ 開催日：3月14日（火）
- ・ 場所：アオウゼ
- ・ 参加者：24人



(7)花案内人養成講座の派遣

外国人からみた花見山の観光について感想を伝え、利点や課題などを花案内人と共有しました。

- ・ 開催日：11月29日（火）
- ・ 場所：市民会館、花見山
- ・ 参加者：10人



(8)外国にルーツを持つ子どもに対する日本語指導研修会

「日本語指導協力者」を養成するため、4回の講座を開催しました。

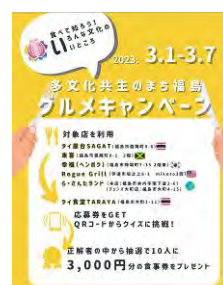
- ・ 開催日：計4回 2/27(26)、3/7(30)、3/14(30)、3/19(15)
- ・ 場所：オンライン（最終日のみ対面）
- ・ 参加者：101人



(9)多文化共生のまち福島グルメキャンペーン

会員店で食事をした方が「多文化共生クイズ」に挑戦し、正解者には会員店で使える食事券を抽選により配付した。食を通じて海外に触れ、多文化共生を知るきっかけをつくりました。

- ・ 開催日：3月9日～30日
- ・ 場所：会員店各店
- ・ クイズ回答者：26人



福島市国際交流協会 TEL 024-525-3739

(10)トルコ・シリア地震募金箱設置

市役所と全ての支所・出張所に募金箱を設置しました。

- ・ 開催日：2月10日～3月31日
- ・ 場所：市役所、支所・出張所



(11)外国人向け生活情報発信

協会 Facebook ページ、協会ホームページにおいて、生活・行政・災害等の情報を多言語で発信しました。令和3年6月からは新たにインスタグラムを開設し、食や観光、イベントなどの身近な生活情報も発信しています。



5 国際交流団体等との連携事業

(1) 国際交流推進団体助成事業

国際交流団体等による市内での国際交流推進事業等へ助成金を交付しました。

・交付実績：2団体2事業

国際ソロプチミスト福島 『福島大学留学生との交流会』

ふくしま青年海外協力隊 『からふるカフェ』

(2) 会員団体広報支援

団体会員、協賛会員の情報を協会ホームページや Facebook ページに掲載しました。

6 広報 PR 事業

(1) 協会ホームページ運営

イベントの告知や活動報告のほか、日本語教育支援などの生活情報を掲載しました。

表 1) 福島市国際交流協会ホームページアクセス数

年度	アクセス数	対前年増減数	対前年増減率
H30 年度	13,679	—	—
R 元年度	13,931	252	1.8%
R2 年度	19,868	5,937	42.6%
R3 年度	27,231	7,363	37.1%
R4 年度	25,918	△1,313	△5.1%

(2) Facebook ページ運営

Facebook ページにおける生活情報発信を相談窓口相談員と協力して発信し、外国人住民のニーズに合ったタイムリーな情報発信を実施しました。

表 2) 福島市国際交流協会 Facebook ページ投稿数および閲覧数

年度	投稿数	閲覧数	1 投稿あたりの 平均閲覧数
R 元年度 (R1.6~R2.3)	76	1,946	26
R2 年度 (R2.4~R3.3)	195	27,295	140
R3 年度 (R3.4~R4.3)	176	24,874	141.3
R4 年度 (R4.4~R5.3)	80	8,262	103.3

(3) Instagram の運営

2021 年 6 月に新たに開設、食や観光、イベントなどの身近な生活情報を英語とやさしい日本語で発信しました。

表 3) 福島市国際交流協会 Instagram 投稿数及び閲覧数

年度	投稿数	閲覧数	1 投稿あたりの 平均閲覧数
R3 年度 (R3. 4~R4. 3)	79	11,600	146.8
R4 年度 (R4. 4~R5. 3)	43 ストーリーズ 146	6,769	157.4

(4) 会報誌発行

ユニバース No. 89~90

7 外国人生活相談窓口

福島市と共同で福島市役所1階において外国人生活相談窓口の開設・運営を行いました。専門の相談員を配置し、外国人向け生活ガイドブック『KORANSHO GUIDE』や多言語パンフレット等の配布、多言語翻訳機等も活用した生活相談の対応を行いました。

また、メッセージャーを利用したオンライン相談も行いました。

- ・ 相談件数

年度	相談件数	対前年増加率
令和2年度 (R2.8~R3.3)	171件	—
令和3年度 (R3.4~R4.3)	450件	263%
令和4年度 (R4.4~R5.3)	442件	98.2%

- ・ 相談内容：転入手続き、税金、教育、給付金等



8 その他事業

後援・共催事業

		事業名	実施団体	開催日
1	後援	ルワンダフルサマー2022～	NPO 法人ルワンダの教育を考える会	7月18日
2	後援	わくわくアフリカンリズム	ともだち・カワン・コミュニティ	9月25日、10月23日、11月13日、12月25日、1月8日、2月12日
3	後援	カラフルふくしま市民講座	福島移住女性支援ネットワーク	11月6日
4	後援	外国にルーツを持つ子どもたちのための進路相談会	ふくしま子どもの日本語ネットワーク	11月12日
5	後援	ムジカトゥッティ・コンサートシリーズ IN 福島	音楽療法NPOムジカトゥッティ	1月9日、2月11日
6	後援	信夫花咲レディース「SDGsについて理解を深めよう」土曜広場	信夫学習センター	2月4日
7	共催	わくわくアフリカンリズムコンサート「サウンド・オブ・ホープ」	こむこむ、音楽療法NPO ムジカトゥッティ、ともだち・カワン・コミュニティ	3月12日
8	後援	土曜広場	ふくしま子どもの日本語ネットワーク	通年（4月9日～3月11日）

9 事業実績概要

福島市の多文化共生事業の推進母体として、『多文化共生のまち福島推進指針』に基づく多文化共生意識の醸成や外国人住民支援のための事業企画・運営を行いました。

令和4年度に実施した協会主催事業実績および、『多文化共生のまち福島推進指針』で示された多文化共生社会実現のための施策目標との対応関係は表の通りです。

<福島市『多文化共生のまち福島推進指針』施策目標>

- 施策目標1** 国籍や文化的差異にかかわらず、相互に理解し、互いに尊重し合う共生社会を推進します。
- 施策目標2** 外国人等が不安なく本市を訪れ、暮らすことができるよう、適切な情報伝達・共有手段の確保に努めます。
- 施策目標3** 日本語教育や国際理解の推進等により、外国人等との円滑なコミュニケーションの実現を図ります。
- 施策目標4** 外国人等を取り巻く生活サービス・環境の改善に努めます。
- 施策目標5** 外国人等の生活状況やニーズの把握に努め、地域の国際化や外国人等の受入れに関する施策の充実・強化に努めます。
- 施策目標6** 外国人等受入施策を包括的に推進するための体制整備を図ります。

表) 実施事業実績および施策目標の対応表

事業名	回数等	参加者数等	該当する指針施策目標
ふれあいネットワーク事業			
英語講座	21回	参加者 延べ205人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
花見 picnic	1回	参加者 20人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
わくわくアフリカンリズム	1回	参加者 32人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
田植え体験@吉井田	1回	参加者 15人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
FIFA 夏祭り	1回	参加者 23人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
わらじまつり	1回	参加者 24人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
オランダ×はんこアート	1回	参加者 28人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
ふくしまスタモイム	1回	参加者 11人	① 相互理解 ③ コミュニケーション

福島原発スタディーツアー	1回	参加者 17人	① 相互理解 ② 正確な情報・魅力発信
英会話 Café	5回	参加者 延べ 93人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
会員団体など関係団体との連携 (アオウゼ)	4回	参加者 延べ 65人	① 相互理解 ③ コミュニケーション 国際理解推進
会員団体など関係団体との連携 (福島ユネスコ協会)	2回	参加者 延べ 56人	① 相互理解 ③ コミュニケーション 国際理解推進
国際理解講座	6回	参加者 延べ 116人	① 相互理解 ③ 国際理解推進
結・ゆい・フェスタ開催事業			
結・ゆい・フェスタ 2022	1回	来場者 延べ 5,000人	① 相互理解 ③ コミュニティ支援
結アンブレラスカイ (主催)	2回	来場者 延べ 41,097人	① 相互理解 ⑥ 連携強化
結アンブレラスカイ用品貸出等	9回	来場者 延べ 7,851人	① 相互理解 ⑥ 連携強化
出張! 結・ゆい・ランチ	1回	来場者延べ 500人	① 相互理解
多文化共生推進事業			
ウクライナ緊急募金箱設置	1回	—	④ 受け入れ環境整備
ウクライナ写真展	1回	参加者 1,021人	④ 受け入れ環境整備
学校訪問	3回	参加者 延べ 137人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
会員団体など関係団体との連携 (ルワンダの教育を考える会)	2回	参加者 延べ 83人	④ 受け入れ環境整備 ⑤ ニーズ把握
外国人のための防災講座	1回	参加者 26人	④ 受け入れ環境整備 ⑤ ニーズ把握
多文化共生センター ワークショップ	4回	参加者 延べ 53人	④ 受け入れ環境整備 ⑤ ニーズ把握 ⑥ 連携強化
花案内人講座	1回	参加者 10人	④ 受け入れ環境整備 ⑤ ニーズ把握

日本語指導研修会	4回	参加者 延べ 101 人	<input type="checkbox"/> 3 コミュニケーション <input type="checkbox"/> 4 受け入れ環境整備 <input type="checkbox"/> 5 ニーズ把握 <input type="checkbox"/> 6 連携強化
グルメキャンペーン	1回	—	<input type="checkbox"/> 1 相互理解 <input type="checkbox"/> 6 連携強化
トルコ・シリア地震募金箱設置	1回	—	<input type="checkbox"/> 4 受け入れ環境整備
外国人むけ生活情報発信 (Facebook・Instagram 運営)	投稿数 269 件	閲覧数 15,031	<input type="checkbox"/> 2 生活情報の多言語化
国際交流団体等との連携事業			
国際交流推進団体助成事業	2 事業		<input type="checkbox"/> 3 コミュニティ支援 <input type="checkbox"/> 6 連携強化
会員団体広報支援	—		<input type="checkbox"/> 3 コミュニティ支援 <input type="checkbox"/> 6 連携強化
外国人生活相談窓口開設・運営事業			
生活相談業務	442 件		<input type="checkbox"/> 4 受け入れ環境整備 <input type="checkbox"/> 5 ニーズ把握

【第2号議案】令和4年度収支決算について

◎収支決算総括表 【(A) + (B) + (C) + (D)】

【収入の部】令和4年度決算 9,853,952 円

【支出の部】令和4年度決算 8,469,042 円

【差引残額】 1,384,910 円 (翌年度繰越額)

【収入の部】

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
会費	405,000	398,805	△ 6,195	(B) 市国際交流協会会費
参加費	50,000	29,800	△ 20,200	(A) ふれあいネットワーク事業参加費 29,800
補助金	8,422,000	8,422,000	0	(A) 市国際交流協会事業費補助金 2,000,000 (C) 外国人受入環境整備補助金 4,022,000 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金 2,400,000
負担金収入	200,000	0	△ 200,000	(D) 結・ゆい・フェスタ出店負担金(会員団体分) 0
前年度繰越金	778,305	778,305	0	(A) 市国際交流協会事業費補助金 83,768 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 629,088 (C) 外国人受入環境整備補助金 35,649 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金 29,800
協賛金	100,000	225,000	125,000	(D) 結・ゆい・フェスタ協賛金
雑入	12,144	42	△ 12,102	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業(預金利子) 12 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業(預金利子) 6 (C) 外国人受入環境整備事業(預金利子) 18 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業(預金利子) 6
計	9,967,449	9,853,952	△ 113,497	

【支出の部】

(単位：円)

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
会議費	150,000	87,821	△ 62,179	(B) 理事会、総会経費
事務費	206,600	214,534	7,934	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 52,476 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 162,058 (C) 外国人受入環境整備事業 0
事業費	9,225,400	8,007,360	△ 1,218,040	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 1,520,286 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 36,656 (C) 外国人受入環境整備事業 3,831,917 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業 2,618,501
諸支出金	159,217	159,327	110	(B) (公財) 福島県国際交流協会賛助会費 10,110 (A) 令和3年度福島市国際交流協会事業費補助金(過年度精算金) 83,768 (C) 令和3年度外国人受入環境整備補助金(過年度精算金) 35,649 (D) 令和3年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金(過年度精算金) 29,800
予備費	226,232	0	△ 226,232	
計	9,967,449	8,469,042	△ 1,498,407	

収入済額合計 9,853,952円 - 支出済額合計8,469,042円 = 差引残額 1,384,910円

◆福島市国際交流協会事業費補助金対象事業（A）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
参加費	50,000	29,800	△ 20,200	○ふれあいネットワーク事業参加費
補助金	2,000,000	2,000,000	0	○福島市 事業費補助金
前年度繰越金	83,768	83,768	0	
雑入	6,232	12	△ 6,220	
計	2,140,000	2,113,580	△ 26,420	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
事務費	100,000	52,476	△ 47,524	○事務用品購入
事業費	1,940,000	1,520,286	△ 419,714	○ふれあいネットワーク事業 654,172 ○多文化共生支援事業 640,311 ○国際交流団体との連携事業 60,803 ○広報PR事業 165,000
諸支出金	93,768	83,768	△ 10,000	○令和3年度福島市国際交流協会事業費補助金（過年度精算金）
予備費	6,232	0	△ 6,232	
計	2,140,000	1,656,530	△ 483,470	

収入済額合計2,113,580円 - 支出済額合計1,656,530円 = 差引残額457,050円

差引残額全額を翌年度に繰り越し、諸支出金（令和4年度福島市国際交流協会事業費補助金戻出（過年度精算金））として全額支出する。

◆福島市国際交流協会事業費補助金対象外事業（B）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
会費	405,000	398,805	△ 6,195	○一般会員1,000円×63 63,000 ○学生会員500円×12 6,000 ○団体会員10,000円×30団体 300,000 ○協賛会員5,000円×4団体 20,000 ○協賛金 1団体 20,000 ○年会費振込手数料（払込取扱票での入金分） △ 10,195
前年度繰越金	629,088	629,088	0	
雑入	5,912	6	△ 5,906	○預金利息
計	1,040,000	1,027,899	△ 12,101	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
会議費	150,000	87,821	△ 62,179	○理事会、総会開催費（資料送付、駐車場代）
事務費	100,000	162,058	62,058	○事務用品購入 162,058
事業費	570,000	36,656	△ 533,344	○会員向け会報誌・イベントチラシ送付 36,656
予備費	220,000	0	△ 220,000	
諸支出金	0	10,110	10,110	○（公財）福島県国際交流協会賛助会費 10,110
計	1,040,000	296,645	△ 743,355	

収入済額合計1,027,899円 - 支出済額合計296,645円 = 差引残額731,254円

差引残額全額を翌年度に繰り越し。

◆福島市外国人受入環境整備事業 (C)

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
補助金	4,022,000	4,022,000	0	○福島市 外国人受入環境整備補助金 (運営事業) 4,022,000
前年度繰越金	35,649	35,649	0	○R3年度外国人受入環境整備補助金戻入充当金
雑入	0	18	18	○預金利息
計	4,057,649	4,057,667	18	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
事務費	6,600	0	△ 6,600	
事業費	4,015,400	3,831,917	△ 183,483	○相談業務委託料 3,795,000 ○通信環境整備業務委託料 30,317 ○委託料振込手数料 6,600
諸支出金	35,649	35,649	0	○令和3年度外国人受入環境整備補助金 (過年度精算金)
計	4,057,649	3,867,566	△ 190,083	

収入済額合計4,057,667円 - 支出済額合計3,867,566円 = 差引残額190,101円

差引残額全額を翌年度に繰り越し、諸支出金 (令和4年度福島市外国人受入環境整備補助金戻入 (過年度精算金)) として全額支出する。

◆結・ゆい・フェスタ開催事業 (D)

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
補助金	2,400,000	2,400,000	0	○福島市結ゆいフェスタ開催事業費補助金
負担金収入	200,000	0	△ 200,000	○会員団体出展負担金として会費収入【B口座】より支出
前年度繰越金	29,800	29,800	0	○令和3年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻入充当金
協賛金	100,000	225,000	125,000	○結ゆいフェスタ協賛金
雑入	0	6	6	○預金利息
計	2,729,800	2,654,806	△ 74,994	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
事業費	2,700,000	2,618,501	△ 81,499	○結アンブレラスカイ開催事業 140,516 ○結・ゆい・フェスタ開催事業 2,005,315 ○出張! 結ゆいランチ開催事業 472,670
諸支出金	29,800	29,800	0	○令和3年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金 (過年度精算金)
計	2,729,800	2,648,301	△ 81,499	

収入済額合計2,654,806円 - 支出済額合計2,648,301円 = 差引残額6,505円

差引残額全額を翌年度に繰り越し、諸支出金 (令和4年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻入 (過年度精算金)) として全額支出する。

監 査 報 告 書

福島市国際交流協会の令和4年度事業内容及び収入支出決算について監査したところ、帳簿及び証拠書類は整備されており、その執行は適正と認められましたので報告します。

令和5年 4月14日

監 事

ふくしま・ベトナム友好協会

監 事 永倉 禮司



監 事

国際ソロプチミスト福島

理 事 渡辺 都



【議案第3号】令和5年度事業計画（案）について

1 会議

- (1) 令和5年度福島市国際交流協会理事会
 - ① 日程 4月17日（月）
 - ② 場所 福島市役所7階会議室
- (2) 令和5年度福島市国際交流協会総会
 - ① 日程 4月23日（日）
 - ② 場所 市民会館第二ホール

2 多文化共生センターの開設

(1) 目的

外国人や外国にルーツを持つ方々が、孤立せずにいつでも立ち寄れる居場所として多文化共生センターを整備します。

外国人や外国にルーツを持つ方々が、国籍や母国語が同じ人とのコミュニケーションや国籍の異なる人との交流を楽しめるとともに、市国際交流協会等のサポートをもっと身近に受けられるような施設を整備し、福島での充実した生活をサポートします。

(2) 多文化の協奏（共創）づくり

本センターの将来的な姿は、文化、国籍、言語等が違う多様性を互いに認め合い、新しい価値観を生み出すことで「福島に住んでよかった」と誰もが感じられる拠点となることです。

多様な方々が集い交流することで協奏（共創）につながり、ひいては地域社会の創造につながる施設となることを目指します。

(3) 開設場所

MAX ふくしま 3階（福島市會根田町1-18） 約170㎡

(4) 開設時期

令和5年9月から10月頃

(5) 施設・機能

- ① 外国人同士または日本人との交流を推進するスペース（カフェテリア）
- ② 簡易的なミーティングスペース
- ③ 多文化共生推進団体・国際交流団体等の活動をつなぐハブ機能
- ④ 外国人へ情報発信・生活相談機能

(6) センターを活用した取り組み案

- ① 多文化交流イベントの開催
- ② 日本語教育イベントの開催

③ 協会ボランティアの育成

(7) 福島市国際交流協会会員との連携や会員拡大への契機

協会会員団体等がセンターで開催されるイベント等に参画することで、普段の活動のPRや活性化を図ることができるようなスキームを構築します。また、センターが多文化共生の推進拠点として機能することで、市民の間で多文化共生意識の醸成が図られるとともに、本協会の新規の会員数拡大の契機とします。

(8) 整備費

福島市からの補助金を活用し多文化共生センターを整備します。

3 多文化共生推進事業

(1) ふれあいネットワーク事業

在住外国人、留学生、市民団体、一般市民、事業所との交流ネットワークの構築および、多文化共生の意識の醸成を図る事業を実施します。

ex. 日越外交関係樹立 50 周年に因んだイベント等

令和5年度事業について

- ① 「多文化共生のまち福島推進指針」施策目標に沿った事業を展開します。
- ② 各事業の関連性を高め、年間をとおして多文化共生を効果的に推進します。
- ③ 多文化共生センターを中心に人や会員団体が集える環境づくりに努めます。

(2) 多言語情報発信

外国人住民向け生活・防災情報等の多言語（やさしい日本語を含む）による発信を行います。なお、情報発信の一部は外国人生活相談窓口の相談員に委託し、外国人住民のニーズに合ったタイムリーな情報発信を図ります。

(3) ボランティア登録制度

通訳・翻訳ボランティア、日本語ボランティア、ホストファミリーボランティアの募集、研修会の案内、活動の紹介等を行います。

今年度からの福島市の事業である「外国にルーツを持つ児童生徒へのきめ細やかな支援事業」を展開するため、日本語ボランティアおよび通訳・翻訳ボランティア登録者の人材紹介を行い、子どもの日本語教育の推進を図ります。

(4) 福島市消防本部英会話レッスン

福島市消防本部と連携し、通信指令隊員や救急救命士等への国際交流員による英語レッスンを実施します。

(5) 外国人防災サポーター養成講座

外国人住民の中心となって防災情報の発信や、発災時に日本人・外国人双方の支援とパイプ役を担う外国人防災サポーターを育成します。

(6)訪問型日本語教室

公共施設などで日本語学習機会を必要とする方への訪問学習を行い、外国出身者の日本語能力の向上を図り、生活支援へとつなげます。

(7)グローバルサポーター派遣事業

外国人コミュニティや国際交流団体のネットワークを活用し、依頼に基づき外国出身の方や多文化共生に携わる方を「グローバルサポーター」として企業や団体等へ派遣し、国際理解講座等を行います。

4 結・ゆい・フェスタ 2023 開催事業

外国人住民や国際交流団体等との交流を通して、幅広い世代に国際交流や多文化共生に関心を持っていただく契機となる、本市の多文化共生社会推進を象徴するイベントを目指します。会員団体や飲食店（会員店）との連携を深め、食・音楽・ダンスなど五感で多様な文化を体験できる場を提供します。

・ 「アンブレラスカイ」の実施

国籍や文化が異なる人々が互いを認め尊重し合い、それぞれのカラーで輝くことができる多文化共生社会の象徴として、色とりどりの傘で装飾します。インスタ映えを狙った集客効果とイベントの認知度アップを図るアイキャッチとして導入します。

※市施設での展示や民間施設への貸出等を推進します。

・ 他イベントとのタイアップ

福島駅周辺で開催する他イベントとタイアップで開催することにより、来場者が相互に往来する相乗効果を狙います。

・ 会場周辺の飲食店との連携

会場周辺の飲食店にも当日に国際料理を販売いただくなど、中心市街地活性化にも寄与する事業とするほか、会員店の拡充を図ります。

・ 音楽やダンスを用いて多文化共生を表現

学校や市民団体等にご協力いただき、音楽やダンスなどの表現によって多文化共生の意識啓発を行います。聴覚で多文化共生を伝えることを推進します。

5 国際交流団体等との連携事業

(1) 国際交流推進団体助成

会員団体が行う国際交流・多文化共生推進に資する事業に対して、助成金を交付します。(1団体1事業、半額補助、上限10万円)

(2) 会員団体コラボ事業

会員団体と共同で多文化理解や外国人住民と日本人住民の交流につながるイベント等を実施し、会員団体の活動活性化や市民全体の多文化共生意識醸成を図ります。

(3) 会員団体広報支援

協会の広報ツール(協会 Facebook、Instagram、ホームページ、会報誌等)を用い、会員団体の活動紹介やイベントの広報支援を行います。

6 広報 PR 事業

(1) ホームページ、Facebook、Instagram の運営

(2) 会報誌「ユニバース」の発行

7 外国人生活相談窓口運営事業

(1) 外国人生活相談窓口の運営

福島市と共同で外国人生活相談窓口の運営を行います。

- ・ 相談員・職員対応言語：ベトナム語、英語、日本語
- ・ 翻訳機対応言語：120 言語以上

(2) 出張相談窓口の開催

平日に相談窓口に来ることが難しい外国人住民向けに、休日に各地区へ出張し相談窓口を開設します。外国人の生活相談に対応するとともに、外国人同士の交流や日本語サロンとのタイアップによる日本人と外国人の交流機会の創設を図ります。

(3) 相談窓口の広報 PR

- ・ 多文化共生センターや市施設での広報、イベント開催時の PR などにより、外国人生活相談窓口の認知度向上を図ります。

8 その他

(1) 後援・共催事業

(2) 研修・会議参加

【議案第4号】令和5年度収支予算（案）について

◎収支予算総括表 【(A) + (B) + (C) + (D)】

【収入の部】 令和5年度予算 18,349,606 円（前年度9,967,449円）
 【支出の部】 令和5年度予算 18,349,606 円（前年度9,967,449円）

【収入の部】

（単位：円）

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
会費	405,000	405,000	0	(B) 市国際交流協会会費
参加費	50,000	50,000	0	(A) ふれあいネットワーク事業参加費 50,000
補助金	15,853,000	8,422,000	7,431,000	(A) 市国際交流協会事業費補助金 1,800,000 (C) 外国人受入環境整備補助金 4,027,000 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金 2,000,000 (E) 多文化共生センター整備補助金 8,026,000
負担金収入	200,000	200,000	0	(D) 結・ゆい・フェスタ出店負担金(会員団体分) 200,000
前年度繰越金	1,384,910	778,305	606,605	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 457,050 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 731,254 (C) 外国人受入環境整備事業 190,101 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業 6,505
寄付金	100,000	0	100,000	(E) 多文化共生センター整備寄付金 100,000
協賛金	350,000	100,000	250,000	(D) 結・ゆい・フェスタ協賛金 200,000 (E) 多文化共生センター協賛金 150,000
雑入	6,696	12,144	△ 5,448	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業(預金利子) 2,950 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業(預金利子) 3,746
計	18,349,606	9,967,449	8,382,157	

【支出の部】

（単位：円）

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
会議費	150,000	150,000	0	(B) 理事会、総会経費
事務費	200,000	206,600	△ 6,600	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 100,000 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 100,000 (C) 外国人受入環境整備事業 0
事業費	8,917,000	9,225,400	△ 308,400	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 1,740,000 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 750,000 (C) 外国人受入環境整備事業 4,027,000 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業 2,400,000
整備費	8,276,000	0	8,276,000	(E) 多文化共生センター整備費 8,276,000
諸支出金	663,656	159,217	504,439	(A) (公財) 福島県国際交流協会賛助会費 10,000 (A) R4年度市国際交流協会事業費補助金戻出 457,050 (C) R4年度外国人受入環境整備補助金戻出 190,101 (D) R4年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻出 6,505
予備費	142,950	226,232	△ 83,282	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 2,950 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 140,000
計	18,349,606	9,967,449	8,382,157	

※科目間の流用については、会長に一任するものとする。

内訳は次ページに記載

◆福島市国際交流協会事業費補助金対象事業 (A)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
参加費	50,000	50,000	0	○ふれあいネットワーク事業参加費
補助金	1,800,000	2,000,000	△ 200,000	○福島市 事業費補助金
前年度繰越金	457,050	83,768	373,282	○福島市 事業費補助金戻入充当金
雑入	2,950	6,232	△ 3,282	
計	2,310,000	2,140,000	170,000	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
事務費	100,000	100,000	0	○事務用品購入
事業費	1,740,000	1,940,000	△ 200,000	○多文化共生支援事業 1,075,000 ○国際交流団体との連携事業 500,000 ○広報PR事業 165,000
諸支出金	467,050	93,768	373,282	○(公財)福島県国際交流協会賛助会費 10,000 ○福島市 事業費補助金戻出 457,050
予備費	2,950	6,232	△ 3,282	
計	2,310,000	2,140,000	170,000	

◆福島市国際交流協会事業費補助金対象外事業 (B)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
会費	405,000	405,000	0	○一般会員1,000円×70名 70,000 ○学生会員500円×20名 10,000 ○団体会員10,000円×30団体 300,000 ○協賛会員5,000円×5団体 25,000
前年度繰越金	731,254	629,088	102,166	
雑入	3,746	5,912	△ 2,166	○預金利息
計	1,140,000	1,040,000	100,000	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
会議費	150,000	150,000	0	○理事会、総会開催費
事務費	100,000	100,000	0	○事務用品購入、年会費振込手数料
事業費	750,000	570,000	180,000	○会員向け会報誌・イベントチラシ送付 150,000 ○結ゆいフェスタ会員団体出展負担金(D口座へ支出) 200,000 ○協会PR事業費 400,000
予備費	140,000	220,000	△ 80,000	
計	1,140,000	1,040,000	100,000	

◆福島市外国人受入環境整備事業 (C)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
補助金	4,027,000	4,022,000	5,000	○福島市 外国人受入環境整備補助金 (運営事業) 4,027,000
前年度繰越金	190,101	35,649	154,452	○外国人受入環境整備補助金戻入充当金
計	4,217,101	4,057,649	159,452	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
事務費	0	6,600	△ 6,600	○委託料振込手数料
事業費	4,027,000	4,015,400	11,600	○相談業務委託料 3,960,000 ○通信環境整備業務委託料 59,436 ○委託料振込手数料 6,600 ○雑費 964
諸支出金	190,101	35,649	154,452	○外国人受入環境整備補助金戻出
計	4,217,101	4,057,649	159,452	

◆結・ゆい・フェスタ開催事業 (D)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
補助金	2,000,000	2,400,000	△ 400,000	○福島市結ゆいフェスタ開催事業費補助
負担金収入	200,000	200,000	0	○会員団体出展負担金として会費収入【B口座】より支出
前年度繰越金	6,505	29,800	△ 23,295	○結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻入充当金
協賛金	200,000	100,000	100,000	○結ゆいフェスタ協賛金
計	2,406,505	2,729,800	△ 323,295	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
事業費	2,400,000	2,700,000	△ 300,000	○結・ゆい・フェスタ開催事業 2,000,000 ○結アンプレラスカイ 400,000
諸支出金	6,505	29,800	△ 23,295	○結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻出
計	2,406,505	2,729,800	△ 323,295	

◆多文化共生センター整備補助金 (E)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
補助金	8,026,000	0	8,026,000	○多文化共生センター整備補助金
寄付金	100,000	0	100,000	○多文化共生センター整備寄付金
協賛金	150,000	0	150,000	○多文化共生センター協賛金
計	8,276,000	0	8,276,000	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R5年度	R4年度	増△減	説明
整備費	8,276,000	0	8,276,000	○多文化共生センター整備費
計	8,276,000	0	8,276,000	

【議案第5号】 役員の改選について

福島市国際交流協会規約第6条及び第9条の規定により下記役員を選出する。

役員		記
会 長	1人	
副 会 長	2人	
理 事	8人（会長及び副会長を含む。）	
監 事	2人	
任 期	2年（ただし、再任を妨げない。）	
顧問	4人	

福島市国際交流協会新役員（案）

敬称略

令和5年度～令和6年度				
役職名	氏名	職名	種別	施策目標（多文化共生のまち福島推進指針） （⑥体制整備が全ての団体に該当）
1 顧問	伊藤 壮一	（ふくしま未来農業協同組合 福島地区役員代表）	【会員団体】	①共生推進、④環境改善
2 "	宗川 孝	（福島ユネスコ協会 事務局長）	【会員団体】	①共生推進
3 "	山田 明生	（福島市日本中国友好協会 会長）	【会員団体】	①共生推進
4 "	太田 英晴	（福島日仏協会 理事長）	【会員団体】	①共生推進
1 会長	木幡 浩	（福島市長）	行政	①～⑥全て （⑥体制整備が全ての団体に該当）
2 副会長	佐藤 美奈子	（福島商工会議所 女性会）	公共 【経済】	①共生推進、④環境改善
3 "	田中 明	（福島大学 国際交流センター長）	公共 【学識・留学生】	②情報伝達、④環境改善、⑤ニーズ把握
4 理事	ガラール 真紀	（福島市観光コンベンション協会）	公共 【インバウンド】	②情報伝達、④環境改善、⑤ニーズ把握
5 "	田中 宏幸	（国際協力機構 二本松青年海外協力隊訓練所長）	公共 【国際協力・貢献】	①共生推進、③コミュニケーション、④環境改善、⑤ニーズ把握
6 "	廣澤 俊樹	（国際ロータリー第2530地区 学友委員長）	民間 【国際奉仕】	①共生推進、③コミュニケーション、④環境改善
7 "	三瓶 千香子	（桜の聖母短期大学 生涯学習センター長）	教育 【グローバル人材】	①共生推進、③コミュニケーション
8 "	永島 恭子	（ふくしま多言語フォーラム 代表理事）	民間 【外国人言語支援】	③コミュニケーション、⑤ニーズ把握
9 監事	永倉 禮司	（ふくしま・ベトナム友好協会 監事）	【会員団体】	⑤ニーズ把握
10 "	佐藤 豊子	（国際ソロプチミスト福島 理事）	【会員団体】	①共生推進、⑤ニーズ把握

多文化共生のまち福島推進指針

- 施策目標① 国籍や文化的差異にかかわらず相互に理解し、互いに尊重し合う共生社会を推進します。
- 施策目標② 外国人等が不安なく本市を訪れ、暮らすことができるよう、適切な情報伝達・共有手段の確保に努めます。
- 施策目標③ 日本語教育や国際理解の推進等により、外国人等との円滑なコミュニケーションの実現を図ります。
- 施策目標④ 外国人等を取り巻く生活サービス・環境の改善に努めます。
- 施策目標⑤ 外国人等の受入状況やニーズの把握に努め、地域の国際化や外国人等の受入れに関する施策の充実・強化に努めます。
- 施策目標⑥ 外国人等受入施策を包括的に推進するための体制整備を図ります。

福島市国際交流協会規約

(名称)

第1条 この会は、福島市国際交流協会（以下「協会」という。）という。

(事務所)

第2条 協会は、事務所を福島市五老内町3番1号に置く。

(目的)

第3条 協会は、福島市において自然、学術、文化等地域の特性を生かした国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を促進するとともに、国籍や文化的背景を異にする者同士が一人ひとりの多様性を尊重し、協力し合って地域社会の活力を創造する多文化共生のまちづくりに寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 協会は、前条に規定する目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 国際交流及び多文化共生に関する事業の企画及び実施
- (2) 諸外国との友好親善交流に関すること
- (3) 国際交流関係団体等との連絡調整に関すること
- (4) 国際交流及び多文化共生に関する調査、研究に関すること
- (5) 国際交流及び多文化共生に関する情報の収集及び提供並びに広報に関すること
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

(会員及び会費)

第5条 協会の会員は、協会の目的に賛同し、入会を希望する個人又は法人若しくは団体をもって構成する。

2 協会の会費は、次の各号に掲げる会員の種類に応じ、当該各号に掲げる額とする。

- | | | | |
|--------------|----|----|---------|
| (1) 個人会員 | 年額 | 1口 | 1,000円 |
| (2) 学生会員 | 年額 | 1口 | 500円 |
| (3) 法人又は団体会員 | 年額 | 1口 | 10,000円 |
| (4) 協賛会員 | 年額 | 1口 | 5,000円 |

(協賛金)

第5条の2 協会の事業に賛同する者からの協賛金は、1口5,000円以上とし、寄付金として処理する。

(役員)

第6条 協会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 5人以内
- (3) 理事 若干名（会長及び副会長を含む。）
- (4) 監事 2人

(役員を選出)

第7条 理事及び監事は、総会において選任する。ただし、任期中に所属団体内で異動が生じた場合は、その役員が属する団体から補充された者をもって充てる。

- 2 会長及び副会長は、理事の互選により選任する。
- 3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第8条 会長は、協会を代表し、会務を総理する。ただし、会長所在の市町村より交付を受ける負担金等に係る職務については、会長が指名した副会長が統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ指定した副会長が、その職務を代理し、会長が欠けたときは、その職務を行う。
- 3 理事は、理事会を構成し、業務の執行を決定する。

4 監事は、協会の会計を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第10条 会長は理事会の承認を得て、顧問を置くことができる。

(会議)

第11条 協会の会議は、総会及び理事会とし、会長が招集し、その議長となる。

2 総会は、毎年1回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時に総会を開催することができる。

3 総会は、次の各号に掲げる事項を議決する。

(1) 規約の制定及び改廃に関する事

(2) 役員選任に関する事

(3) 事業計画に関する事

(4) 予算及び決算に関する事

(5) その他の重要な事項に関する事

4 理事会は、協会の運営に関する重要事項を議決する。

5 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。

(事務局)

第12条 協会の事務を処理するため、協会に事務局を置く。

2 事務局に事務局長その他の職員を置く。

3 事務局その他の職員は、会長が任免する。

(経費の支弁)

第13条 協会の経費は、会費、補助金、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(委任)

第15条 この規約に定めるもののほか、協会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、1994年(平成6年)3月28日から施行する。

2 協会の設立当初の役員は、第7条第1項及び第2項の規定にかかわらず、別表役員名簿のとおりとし、その任期は、第9条第1項の規定にかかわらず1996年(平成8年)3月31日までとする。

3 協会の設立初年度の会計年度は、第13条の規定にかかわらず、設立の日から1995年(平成7年)3月31日までとする。

4 第7条及び第9条の規定にかかわらず、第9条の役員任期が満了する場合において、災害その他緊急事態の発生等特別の事情があると認めるときは、理事会に諮り、その役員任期を1年を超えない範囲内で延長することができる。

附 則

この規約は、1995年(平成7年)4月28日から施行する。

附 則

この規約は、2005年(平成17年)5月8日から施行する。

附 則

この規約は、2008年(平成20年)6月1日から施行する。

附 則

この規約は、2020年（令和2年）5月22日から施行し、改正後の福島市国際交流協会規約の規定は、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、2021年（令和3年）令和3年4月1日から施行する。